

# 表彰式を盛大に開催

## 全日本アートサロン絵画大賞展

全日本アートサロン絵画大賞展実行委員会(西村貞一実行委員長)が主催する「全日本アートサロン絵画大賞展」の表彰式が3月7日、兵庫県西宮市の西宮市立市民ギャラリーで開催された。

表彰式は、始めに主催者を代表して、サクラクレパス・西村貞一実行委員長が「絵の良し悪しはわからないが、絵を見るのは好きで、見て感じる、心が動くような体験ができるのが楽しい。心が大きく動けば動くほど豊かな気持ちになる。応募作品は審査員の先生方に予備審査なしで全作品を一点ずつ見てもいい、厳正に審査を行っている。私事だが、今年の正月にクレパス画にチャレンジすることになり、絵を描く難しさを痛感した。同時に子どもの頃の絵を描く楽しさを思い起こした。皆さん、今後とも素晴らしい絵をたくさん描いて、豊かで楽しい人生を過ごしてもらいたい」と挨拶した。

続いて、大阪市立美術館名誉館長・篠雅廣氏、女優・仁科会友・岸ユキ子氏による審査員講評のあと、表彰式に移り、文部科学大臣賞のアクリル画「天空の深海魚」(須田浩氏、神奈川県)をはじめ、自由表現部門と写真表現部門の大賞、特別賞、優秀賞をそれぞれ顕彰した。

今年の絵画大賞展には6歳から90歳まで、900人から自由表現部門703点、写真表現部門529点の合計1232点の応募が寄せられ、昨年12月にサクラクレパス本社で厳正に審査が行われた。

展覧会は、東京展2月6〜17日国立新美術館、関西展3月4〜9日西宮市立市民ギャラリーで開催された。

④表彰式での記念撮影(下) ⑤文房具屋さん大賞2025 文房具屋さん大賞2025



④表彰式での記念撮影(下) ⑤文房具屋さん大賞2025 文房具屋さん大賞2025

頃、5月から7月にかけて地方展が岡山、愛媛、広島、福岡、宮城、北海道で開催予定。同展は、サクラクレパス創業70周年記念事業の一環として1991年に創設された。アートを愛し、描くことを楽しむ人のために発表のチャンスを提供することを、絵画ファンの拡大を目指している。

## 「文房具屋さん大賞」発表 大賞は「キレーナ」

株式会社扶桑社が主催する有名店のプロが厳選する「文房具屋さん大賞2025」が3月14日に発表された。最新文房具801アイテムの中から、大賞にパイロット「キレーナ」が選ばれた。

「部門賞」では、サンスター文具がカラーペン賞「重ね書きマーカーデコッペン」を受賞。パイロット「キレーナ」がそれぞれ受賞した。

「部門賞」では、サンスター文具がカラーペン賞「重ね書きマーカーデコッペン」を受賞。パイロット「キレーナ」がそれぞれ受賞した。

「部門賞」では、サンスター文具がカラーペン賞「重ね書きマーカーデコッペン」を受賞。パイロット「キレーナ」がそれぞれ受賞した。



④表彰式での記念撮影(下) ⑤文房具屋さん大賞2025 文房具屋さん大賞2025

## 各種会議事項など報告

### 大紙工期末理事会

大阪紙製品工業会(黒田章裕会長)は、3月26日午後3時30分より、大阪市中央区文庫会館会議室で期末理事会を開催した。

当日は、寺村聖一専務理事が司会進行。会議に先立ち黒田会長は次のように挨拶した。

「弊社、ココは、今年創業120年という節目を迎えた。『商品を通して世の中の役に立つ』という理念のもと、全国に配送センターや24時間稼働の工場を整備し、良質で品切れのないように商品の提供を行っ

て、顧客満足度を高めてきた。その甲斐あって、最近では『待っていました』とよく作ってくれた』『これが欲しかったんだ』といった感謝の声を多くのユーザーから直接に聞くようになってきた。

企業にとって最も大切なのは人であり、社員の仕事に対するやりがいや、それによるリターンが重要と考えている。10年かけて習得するような専門知識も、将来的にはAIが瞬時に答えられるようになる。私たちがこれまで培ってきた経験や、やりがいを活かして多くの仕事を、残念ながら人間が担う必要がなくなってしまうかも知れないかと

と考えると、人間が喜びを感じ、『待っていました』と言われるような仕事や商品を見つけて出すことに注力し始めている。既に東京では他社とのマッチングサービスも提供し、ビジネスモデル化している。

世の中の変化に対応するためには、技術を学び、お客様の利便性を高めることも重要だが、それ以前に自分たちが仕事にやりがいを感じ、楽しみながら働ける環境をどれだけ作れるかが、非常に重要だと感じている。そこでなければ、私たちがこれまで培ってきた熟練の技術や経験を活かす場が、将来的にはほとんど減っていくのではないかと懸念を行っている。

## グリーンベル創業者

### 石田潔相談役お別れ会

株式会社グリーンベルは、3月7日、大阪市北区のホテル阪急インターナショナル4階宴会場にて、昨年10月15日に91歳で亡くなった創業者、石田潔相談役のお別れ会を執り行った。得意先、取引先など多数の参列者が訪れ、故人の遺業、遺徳を偲んだ。

献花会場の祭壇には故人の遺影が飾られ、参列者は献花台に次々と白いカーネーションを供え、遺影に黙とうを捧げた。

隣室の食事会場入り口では石田逸人社長と息子が参列者一人ひとりに立礼。会場の一隅には故人の思い出の写真やグリーンベル創業までの軌跡を紹介するパネル展示やモノづくりの



石田相談役の遺影が飾られた祭壇

## 蝕刻万年筆とインキ瓶展

株式会社パイロットコーポレーション(藤崎文男社長、東京都)は、5月30日まで本社1階エントランスギャラリーで、「蝕刻万年筆とインキ瓶展」を開催している。

スターリングシルバーの万年筆ボディに、精密な模様を描き出す蝕刻技法を用いた。アルギラリーを設営。両会場には企業のブランドイメージを視覚的に表現した「コーポレートカラー(グリーン)」の照明演出が用いられた。

故人は1968年大阪の地に装飾物雑貨の株式会社グリーンベルを創業。高級爪切り「匠の技」シリーズの原点となったステンレス製プレートの爪切りの開発、高品質の製品の魅力を海外市場にアピールして販路を広げるなど事業発展の礎を築いた。

株式会社日本事務機新聞社(酒井伸雄社長、枚方市)は、令和7年3月24日の発行号をもって、「日本事務機新聞」を休刊した。

日本事務機新聞は1969年(昭和44年)1月に創刊した事務機器業界の専門紙。半世紀にわたって事務機器業界の最新トレンドや動向を伝えてきた。

ライオン事務器は石丸文行(エッチング)を施した「シグナル」をはじめ、蝕刻技法を用いた漆芸万年筆など、伝統の柄からユニークな柄まで37点の蝕刻技法を用いた作品を展示している。同時に懐かしのインキ瓶も展示している。

株式会社日本事務機新聞社(酒井伸雄社長、枚方市)は、令和7年3月24日の発行号をもって、「日本事務機新聞」を休刊した。

日本事務機新聞は1969年(昭和44年)1月に創刊した事務機器業界の専門紙。半世紀にわたって事務機器業界の最新トレンドや動向を伝えてきた。

株式会社日本事務機新聞社(酒井伸雄社長、枚方市)は、令和7年3月24日の発行号をもって、「日本事務機新聞」を休刊した。

日本事務機新聞は1969年(昭和44年)1月に創刊した事務機器業界の専門紙。半世紀にわたって事務機器業界の最新トレンドや動向を伝えてきた。

株式会社日本事務機新聞社(酒井伸雄社長、枚方市)は、令和7年3月24日の発行号をもって、「日本事務機新聞」を休刊した。

日本事務機新聞は1969年(昭和44年)1月に創刊した事務機器業界の専門紙。半世紀にわたって事務機器業界の最新トレンドや動向を伝えてきた。

匠の技 ステンレス製 高級つめきり

ワンタッチで錆ね上がる開口部

使いやすいとデザイン性を追求した無敵のつめきり

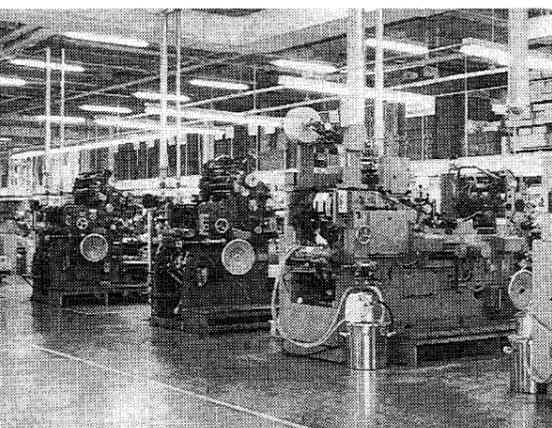
テコ表面中央部分 超微粒ヤスリ付き

美しい暮らしを創る後継利器万物

グリーンベル

http://www.greenbell.net/

## 充実した生産設備で



## カラー封筒 セロ窓封筒

コーキ封筒株式会社

〒584-0023 大阪府富田林市若松町東3丁目7番8号  
TEL 0721-25-7210 (代表)  
FAX 0721-25-9484

本を抜き取っても隣の本が倒れない

1冊でも倒れない BOOK STAND

1冊でも倒れないブックスタンド

本などを手前から差し込むだけ。 抜き取ったところのストッパーだけが下がり、隣の本が倒れません。

A-3575

株式会社 LIHIT LAB. 本社 〒540-8526 大阪市中央区農人橋1-1-22 TEL (06)6946-2525 (代) 東京 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町11-6-6 TEL (03)3862-6911

www.lihit-lab.com